

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

裏金政治ゆるさない 新しい政治を島根から 原発STOP くらし福祉の充実を

こくた恵一衆院議員が訴え

日本共産党街頭演説会 松江市



4月13日、日本共産党は春の政治戦に向け、県庁前で街頭演説会を開きました。
穀田恵二国会対策委員長・衆院議員は「自民党の牙城を崩すため、この政治戦で共産党は野党の一本化を行った。立憲民主党の元衆議院議員支援に総力を挙げる」と訴えました。

「民主主義を前進させる共産党を伸ばす以外に政治を変えざる道はない」と力を込めました。自民党が幕引きを図ろうとしている裏金事件について「国民の圧倒的多数は、説明責任が果たされたとはいえない」と述べ、「国会で関係者の証人喚問を求めていく」と訴えました。
村穂江利子党副委員長は「8月に予定される島根原発2号機再稼働を食い止めよう」と呼びかけ、亀谷ゆう子党副委員長は「社会保障の連続改悪で暮らしは大変。共産党の躍進で福祉を充実させよう」と訴えました。

松江市委員会は11月議会で設置特別委員会は12月20日に第一回目を開催、4月12日には第10回目が開催、特別委員会として現在34の議員定数を31に削減する案を委員会意見とすることが賛成多数で決まりました。今後は4月22日に市議会臨時会が開かれ本会議で採決されます。

3月28日に、意見聴取の結果、8団体が「30」、2団体が「31」、1団体が「32」、33」、1団体が「34」、1団体が「増員」、1団体「数字は出せない」という意見だったと報告されました。これを受けて4月3日の委員会では挙手にて「31」を委員会の決定としてパブリックコメントを行うことが決定しました。
私たちは市議は、意見聴取する団体の数が少なく民意とすることはできない、聴取先をどんな団体にするのか、また内容や方法なども委員会で充分協議できなかったこと、パブリックコメントが通常より短く1週間であり市民の意見を十分に聞いたとは言えないなど問題を指摘し、改めて「議員の数を減らすことは市民の声を届きにくくする」と現状維持を訴えました。

松江市委員会議員定数等特別委員会 議員定数34から31へ削減



「人間の自由」を子どもたちへ！ 第29回党大会に参加して

党東部地区副委員長・松江市議会議員

たちばなふみ

私たちの目指す未来社会の目的が「人間の自由」にあることが示されました。

「がんばっても賃金があがらない」「女性は年金が少なくて暮らしが大変」「子どもができて仕事をやめた、次は非正規しかなかった」。私がジェンダー平等をかかげて挑んだ選挙で多くの女性たちからこういった声がよせられました。

私たちは、あらゆるハラスメント、児童虐待やDV、家長制のなごりによる女性蔑視などに心痛め、苦しめられています。その苦しみの根底に資本主義の特質である「搾取」があります。

第29回党大会で田村智子さんが新委員長となったことは、こうした思いの女性たちを励まし勇気づけるものです。大会決定で、あらためて私

「人間が人間を搾取するしくみをなくし、労働時間が基本的に短縮されれば、今は眠っている人間の可能性を広げることができ、ひとり一人の人生がより豊かに発展する」

「人間が人間を搾取するしくみをなくし、労働時間が基本的に短縮されれば、今は眠っている人間の可能性を広げることができ、ひとり一人の人生がより豊かに発展する」

「人間が人間を搾取するしくみをなくし、労働時間が基本的に短縮されれば、今は眠っている人間の可能性を広げることができ、ひとり一人の人生がより豊かに発展する」

裏金の真相解明 政治の一掃へ



この後、意見を聴取する団体や方法、内容について協議する予定でしたが、会派の意見が割れたまま中断していましたが突然3月1日の委員会で「削減する方向で協議する」と採決が行われ「現状維持」の意見を書かれぬアンケートが公共的とされる14団体に送付されることが決まりました。

私たちは市議は、意見聴取する団体の数が少なく民意とすることはできない、聴取先をどんな団体にするのか、また内容や方法なども委員会で充分協議できなかったこと、パブリックコメントが通常より短く1週間であり市民の意見を十分に聞いたとは言えないなど問題を指摘し、改めて「議員の数を減らすことは市民の声を届きにくくする」と現状維持を訴えました。